

中目黒駅周辺地区整備計画の改定に向けた各種調査

● まちの状況やまちづくりに対する意向を踏まえた整備計画とするため、以下の調査を行いました。


1. まちの現状・今後想定されるまちの動きを把握するための調査

資料や統計データによる基礎調査
目的: 地区の特性や課題を把握するための基礎的な情報(都市基盤・地域資源・人口等)の収集・分析

店舗・事業所分布状況調査、実地調査
目的: 地区内の店舗・事業所の現状や都市空間の使われ方の把握

調査内容: ①地区内の店舗・事業所の分布状況について
②地区内に滞在する人の過ごし方について
③地区内の公園等の公共空間について

<調査する内容のイメージ例>



①店舗・事業所が集積

②待ち合わせ中の人で混雑

①店舗が集積

②柵に腰掛ける人たちが滞留

③活性化が望まれる場所

2. 住民・来街者、地区内関係者の意向等を把握するための調査

住民アンケート
目的: 地区内の生活環境に関する実態や今後のまちづくりに関する意向の把握
対象者: 中目黒にお住まいの方々(1,800人)
調査方法: 郵送配布・郵送回収

来街者アンケート
目的: 地区内への来訪の実態やニーズなどの把握
対象者: 中目黒に訪れた経験のあるの方々(400人)
調査方法: インターネット調査

地区内関係者ヒアリング
目的: まちづくりに関する取組の状況や今後のまちづくりに関する意向の把握
対象者: 町会・住区住民会議、商店街、商工会議所、事業者、大学
調査方法: 対象者への個別ヒアリングまたは、グループインタビュー

地区の特性、現行の地区整備計画策定時からのまちの変化、住民・来街者・地区内関係者の意向を踏まえ、地域の特性や今後のまちづくりに向けた課題を把握